

呉医療センターで診療を受けられる皆様へ (脳神経内科外来・病棟)

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問合せ先にご連絡ください。

① 該当者	2004年4月1日～2032年3月31日の期間に当院において生検病理診断または病理解剖診断により神経筋疾患と診断された患者さん			
② 研究課題名	動的神経病理に基づく神経筋疾患の新規診断法の開発			
③ 実施予定期間	2020年5月～2032年3月			
④ 実施機関	国立病院機構 呉医療センター			
⑤ 研究代表者	氏名	大下 智彦	所属	国立病院機構 呉医療センター脳神経内科
⑥ 当院の研究責任者	氏名	大下 智彦	所属	国立病院機構 呉医療センター 脳神経内科
⑦ 使用する試料	<p>上記①に記載の対象期間中に、当院で通常診療において行った生検・剖検で採取した検体の残余を使用します。</p> <p>また、対象となる方の診療情報から下記項目を転記し使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 基本情報（年齢、性別、病名、罹病期間、臨床経過） ● 検査データ（採血(血算、肝機能、CK、腎機能、炎症関連蛋白、自己抗体など)、画像CT、MRI、エコーなど)、病理組織診断) <p>※上記診療情報は、研究終了後5年間もしくは、研究結果の公表後3年間のいずれか長い期間まで厳重に保管され、その後適切な方法で破棄されます。</p> <p>残余検体を解析したデータと診療情報は、研究事務局および各施設の研究担当者両方において保管されます。</p> <p>※当院の研究者、研究代表者、研究事務局などが収集した情報を取り扱います。</p>			
⑧ 目的	<p>神経筋疾患は筋力低下や感覚障害などを共通の臨床症状とするため、症状から診断を行うことには困難を伴います。一方、治療可能な神経筋疾患は近年増加してきており、正確な早期診断は重要です。そこで、神経筋疾患患者さんの血液検査・髄液検査・電気生理学的検査・画像検査と病理学的異常所見との関連を解明することで、新規診断法を見いだすことを目標にしています。</p>			
⑨ 方法	<p>国立病院機構呉医療センターおよび共同研究施設(広島大学、徳島大学、愛知医科大学、国立精神・神経医療研究センター)において生検病理診断または剖検病理診断を受けた際に、研究・医学教育目的での残余検体使用に同意いただいた神経疾患・末梢神経疾患・筋疾患患者さんを対象にしています。</p> <p>残余検体から標本スライドを作成し、各施設において解析を行います。そのデータと、上記⑦に記載した診療情報の一部を仮名化した状態で研究事務局に送付します。</p> <p>研究事務局にてまとめてデータ解析が行われます。</p> <p>※研究事務局:国立病院機構呉医療センター脳神経内科・医師 倉重 毅志</p>			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日	2020年6月12日		
	院長承認日	2020年6月12日		
⑪公表	個人情報保護のうえ、研究成果を学会や医学論文などに発表することがあります。			
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は一切使用しません。			
⑬知的財産権	将来、この研究の成果が得られ、知的財産権が生じる可能性もありますが、その権利は研究者もしくは所属する研究機関に帰属します。			
⑭利益相反	本研究では、利害の衝突は一切生じません。			
⑮問い合わせ	連絡先	倉重 毅志	電話	0823-22-3111(代表)
	国立病院機構 呉医療センター 脳神経内科			

呉医療センター院長